

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

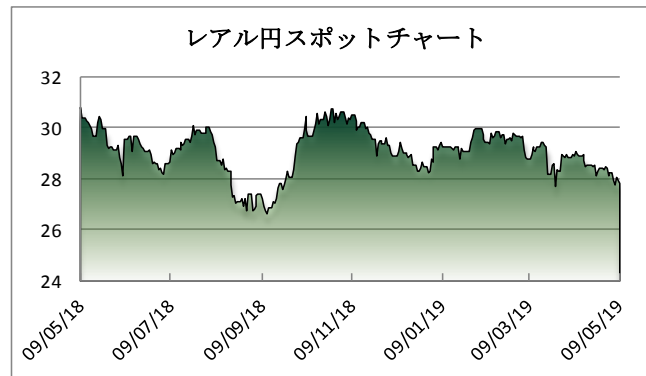
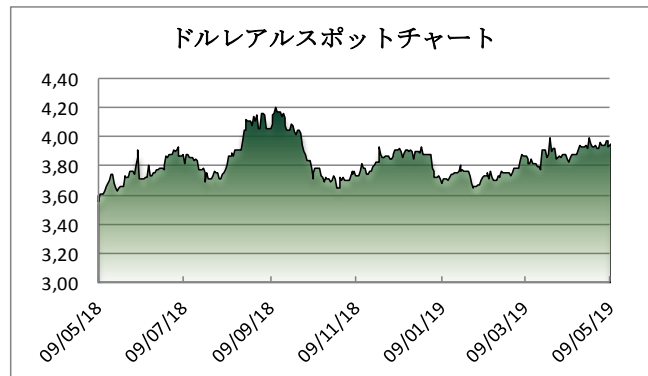
マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、年金改革法案への進展期待が高まったものの、米中貿易協議に関する懸念が高まったことや、朝方に公表されたブラジル3月小売売上高が予想以上に落ち込んだことを背景に、前日のレアル上昇分を全て吐き出し、一時3.98台前半までレアル安が進行した。昨日9日から中国の劉鶴副首相がワシントンを訪問しているが、それに先立ってフロリダ州パナマシティビーチで開催された集会において、トランプ大統領は、「中国の指導者が貿易協定で約束を破った」と発言。通商合意がない場合に中国製品に対する関税で米国が年間1000億ドルを手にする事になって、何れも悪いことはない」との見解を示し、両国協議の前に通商対立のエスカレートが不安視する声が強まった。しかし、その後同大統領が習近平国家主席から、「素晴らしい書簡を受け取った」との事実を明らかにすると、リスクセンチメントも改善し、レアルも急反発。3.93台半ばまでレアル高に転じる時間帯も見られた。ブラジル国内では、小売売上高が前年比で▲4.5%と大きく落ち込んだことを受け、第1四半期GDPがマイナス成長を記録する可能性が指摘されている(5月30日公表予定)。ブラジル中銀が公表しているFOCUS(週次レポート)においても、2019年の成長見通しが年初以降、大幅に下方修正されており、(中銀やGuedes経済相は、経済が回復プロセスに戻ると繰り返し発言しているが)財政改革が経済成長を加速させるとのシナリオに疑問を感じている市場参加者が増加している。一方でロイター社は昨日、一連の経済改革が実行に移されれば、ブラジルへの海外からの直接投資が拡大し、同国への投資ブームが再来する、との記事を掲載。中銀データに基づく、第1四半期に流入額は211億ドルを記録しており、昨年の水準を超過。最終的には昨年の883億ドルを上回る可能性が高いと指摘している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	5月8日	5月9日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,9286	3,9472	0,47%	2,51%	3,6374	4,0158
	対円	JPY	28,02	27,81	-0,75%	-3,60%	30,08	27,53
	対ユーロ	BRL	4,3973	4,4278	0,69%	2,02%	4,1646	4,5069
円	対ドル	JPY	110,10	109,74	-0,33%	-1,26%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	123,22	123,08	-0,11%	-1,67%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	95.597	94.808	-0,83%	-1,54%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	173,30	173,55	0,14%	1,72%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	8,82	8,79	-0,34%	-1,97%	9,34	8,70
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,43	6,41	-0,39%	-1,31%	6,69	6,32
3 Months US Dollar Libor		%	2,54513	2,53525	-0,39%	-1,78%	2,8039	2,5451
CRB Index (国際商品指数)		Index	179,75	179,01	-0,41%	-5,07%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。